

基調講演

「平泉」の世界遺産の価値を読み解く

リモート映像による講演

本中 眞氏

前内閣官房内閣参事官 (産業遺産の世界遺産登録推進室)
元文化庁文化財部記念物課 (名勝部門) 主任文化財調査官

全体日程

- 10:00 ~ 受付
- 10:30 ~ 10:45 開会行事
- 10:50 ~ 11:40 基調講演
- 11:45 ~ 12:00 情報提供 (「平泉の文化遺産」ガイド施設(仮称))
- 休憩
- 13:00 ~ 14:55 共同研究に関する報告
- 休憩
- 15:05 ~ 16:05 調査成果の報告
- 16:05 ~ 16:15 全体講評・閉会行事



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、感染対策 (入場は200名まで、検温 (37.5℃以上は不可)、マスク着用、アルコール消毒、連絡先の記入) を実施したうえで開催します。

当日は、映像 (You Tube) でも同時配信します。今後の感染状況によっては、一般公開をとりやめ、映像配信 (YouTube) のみの公開に変更する可能性があります。変更の場合、新聞広告及び岩手大学平泉文化研究センターHP (右記QRコード) により、公開の可否をお知らせします。



研究報告

- 13:05~13:25 研究報告①
「柳之御所遺跡の考古学的研究」
北村 忠昭 県教育委員会 ((公財) 県文化振興事業団埋蔵文化財センター)
- 13:25~13:45 研究報告② リモート映像による発表
「平泉の彼岸と此岸の造形に係る比較研究」
岡田 健 国立文化財機構 文化財防災センター
- 13:45~14:05 研究報告③ リモート映像による発表
「出土文字資料の集成的研究」
三上 喜孝 国立歴史民俗博物館
- 14:15~14:35 研究報告④
「東・北アジアにおける政治拠点と平泉の比較研究」
劉 海宇 岩手大学 平泉文化研究センター・大道 篤史 ほか 岩手県教育委員会
- 14:35~14:55 研究報告⑤
「日本の学校教育における世界遺産の教材化についての研究」
今野日出晴 ほか 岩手大学 教育学部

調査成果の報告

- 15:05~15:25 調査報告①
「骨寺村荘園遺跡の調査」
一関市教育委員会 菅原孝明
- 15:25~15:45 調査報告②
「長者ヶ原廃寺跡の調査」
奥州市教育委員会 中島康佑
- 15:45~16:05 調査報告③
「志羅山遺跡の調査」
平泉町教育委員会 鈴木博之

(緊急事態宣言が出されている地域の講演者・発表者については、リモート映像により対応します)

令和3年 2月7日(日) 10:30 ~ 16:15

会場 / 一関文化センター 中ホール (一関市大手町2-16)

主催 / 岩手県、岩手県教育委員会、岩手大学、岩手大学平泉文化研究センター、「世界遺産平泉」保存活用推進実行委員会

共催 / 一関市教育委員会、奥州市教育委員会、平泉町教育委員会

後援 / (公財) 岩手県文化振興事業団、(一社) 岩手県文化財愛護協会、岩手考古学会、岩手史学会、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、ICN一関ケーブルネットワーク、エフエム岩手、一関コミュニティFM (FMあすも)、岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、河北新報社、産経新聞盛岡支局、岩手日日新聞社、共同通信社盛岡支局、時事通信社盛岡支局、胆江日日新聞社



JR一関駅(西口)から徒歩5分 駐車場70台あり

第1回 平泉学フォーラム

入場無料

対象：一般
(先着 200名)

問い合わせ先

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課 (柳之御所担当) TEL 019-629-6488

「世界遺産平泉」保存活用推進実行委員会事務局 Mail : AK0002@pref.iwate.jp (文化振興課)



令和2年度文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)

基調講演 ≪「平泉」の世界遺産の価値を読み解く≫

本中 眞 氏 (もとなか まこと)

前内閣官房内閣参事官 (産業遺産の世界遺産登録推進室)
元文化庁文化財部記念物課 (名勝部門) 主任文化財調査官

平成23(2011)年の「平泉」世界遺産登録から、まもなく10周年を迎えます。当時、文化庁の主任文化財調査官として世界遺産登録を担当された本中 眞氏より、「平泉」が持つ世界遺産の価値や魅力について焦点をあてながら、わかりやすくご講演いただきます。

【略 歴】

奈良国立文化財研究所(現在の奈良文化財研究所)の主任研究官等を経て、平成6(1994)年から平成27(2015)年まで文化庁記念物課に勤務。主任文化財調査官として世界遺産登録の推進、名勝の保護、史跡の整備等に従事。

平成13(2001)年に「平泉」が世界遺産暫定一覧表に記載されて以来、世界遺産登録を主導し、平成23(2011)年、「平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-」の登録に尽力。令和元(2019)年度には、遺産影響評価基準等策定検討委員会の委員長として、「平泉」の価値の保全のための基礎資料となる「平泉の遺産影響評価に係る研究報告書」(世界遺産平泉保存活用推進実行委員会)の作成にあたった。

【おもな著書】

- ・世界文化遺産の思想 (西村幸夫・本中 眞編 東京大学出版会) ,2017
- ・日本古代の庭園と景観 (吉川弘文館) ,1994
- ・日本の美術 第372号 借景 (至文堂) ,1997
- ・東アジアにおける理想郷と庭園 ((独行) 国立文化財機構 奈良文化財研究所・文化庁) ,2009



【当日の日程】

- 10:00 ~ 受付
- 10:30 ~ 10:45 開会行事
- 10:50 ~ 11:40 基調講演 『「平泉」の世界遺産の価値を読み解く』
前内閣官房内閣参事官 本中 眞 (リモート映像による講演)
- 11:45 ~ 12:00 情報提供 『「平泉」の文化遺産」ガイダンス施設(仮称)について』(岩手県)
- 12:00 ~ 13:00 昼食・休憩・換気
- 13:00 ~ 13:05 『「平泉文化」の総合的研究基本計画』(第3期)の概要について』(岩手県)
- 13:05 ~ 13:25 研究報告①『柳之御所遺跡の考古学的研究』
県教育委員会 ((公財) 県文化振興事業団埋蔵文化財センター) 北村忠昭
- 13:25 ~ 13:45 研究報告②『平泉の彼岸と此岸の造形に係る比較研究』(岩手県との共同研究)
国立文化財機構 文化財防災センター 岡田 健 (リモート映像による発表)
- 13:45 ~ 14:05 研究報告③『出土文字資料の集成的研究』(岩手県との共同研究)
国立歴史民俗博物館 三上喜孝 (リモート映像による発表)
- 14:15 ~ 14:35 研究報告④『東・北アジアにおける政治拠点と平泉の比較研究』(岩手大学・岩手県の共同研究)
岩手大学 平泉文化研究センター 劉 海宇・岩手県教育委員会 大道篤史 ほか
- 14:35 ~ 14:55 研究報告⑤『日本の学校教育における世界遺産の教材化についての研究』(岩手大学・岩手県の共同研究)
岩手大学 教育学部 今野日出晴 ほか
- 14:55 ~ 15:05 休憩・換気
- 15:05 ~ 15:25 調査報告①『骨寺村荘園遺跡の調査』
一関市教育委員会 菅原孝明
- 15:25 ~ 15:45 調査報告②『長者ヶ原廃寺跡の調査』
奥州市教育委員会 中島康佑
- 15:45 ~ 16:05 調査報告③『志羅山遺跡の調査』
平泉町教育委員会 鈴木博之
- 16:05 ~ 16:15 全体講評・閉会行事

【お知らせ】

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、感染対策(入場は200名まで、検温(37.5℃以上は不可)、マスク着用、アルコール消毒、連絡先の記入)を実施したうえで開催いたします。
- ・今後の感染状況によっては、一般公開をとりやめ、映像配信(YouTube)のみによる公開に変更する可能性があります。変更の場合は、新聞広告及び岩手大学平泉文化研究センターホームページ(右記QRコード)によりお知らせします。

開催の有無の確認、当日の映像配信(YouTube)については、右記QRコードからご確認下さい。

